

# 校長室つれづれ言葉

## 成長に向け、具体的に動く

僕の意見は正しい。  
でも、私の方が正しい。  
いや、僕のほうが。  
いや、私の方が。  
自分のことをわかってよ。なんでわかってくれないの。

仮に自分の考えを言い張って、意見が通ったとしても  
相手をねじ伏せているだけの自己満足？

感情をぶつけあって、言い張って、解決はしないよ。  
怒りや悲しみ、心の傷が深まるばかりで、成長はしないね。  
相手の心を考えるゆとりを、冷静さをもちたいものですね。

もっと、みんな、あのようにしたらいいのに。  
もう、またミスして。  
あれがなかったら、うまくいったのに。  
もっと、ちゃんとしてよ。

間違え、失敗に気づき、指摘するのはよくわかる。  
よりよくしたいからかな。  
自分のチームが勝ってほしいからかな。  
でも、あの人は自分勝手なことをしているかな。  
相手に不満をぶつけても、いいムードになるのかな。  
いいムードにするには、よりよいチームワークにするには  
相手の緊張をほぐす声かけかな。  
具体的に丁寧に伝えることから始めることかな。  
自分が変わることかな。たおやかに。

相手のせいにしても  
物にぶつけても  
時代のせいにしても  
自分を責めすぎても  
自分の枠の中にいるだけかもしれない。  
自分の正しさにこだわっているだけかもしれない。

成長のため  
ふうっと深い息をして、心をほぐして、つまり、こだわりすぎず、  
具体的に自分ができそうなところから。  
そう。  
具体的に動くことから始めてみましょう。

新たな道がみえてくる  
そう、私は思います。

